

Japan Community Health care Organization

Ritsurin Hospital

看護職員リクルートガイド



独立行政法人 地域医療機能推進機構

ジェイコー

JCHOりつりん病院

看護部長
三谷 和美



りつりん病院看護部では、

1

その人らしいを支える医療

患者さまやご家族の声・気持ちを大切にすることを目標とし、患者さまやご家族にしっかり向き合い、気持ちに寄り添い、思いやりの心を持った看護の実践ができるよう努めています。

2

みんなの笑顔が見られる看護

職員を大切に、すべての看護師が笑顔で生き生きと働き続けることが、患者さまやご家族のみなさまへの安心・安全な看護の提供につながり、地域のみなさまから選んでいただける病院になることだと思っています。

看護部の 理念・方針

私たちは患者さまやご家族の声・気持ちを大切に
する看護をめざします。

看護部 基本方針

1. 受け持ちの看護師としての役割と責任を果たします。
2. 他職種との連携を強化し、スムーズな社会復帰・退院を支援します。
3. 地域住民のニーズに応じた看護サービスを提供します。

病院 概要

健康管理センターと回復期リハビリテーション病棟などを併設した急性期総合病院です



病床数: 199
 7:1一般病棟、地域包括ケア病棟、
 回復期リハビリテーション病棟、外来、手術室、
 健康管理センター、訪問看護ステーション
 看護職員数: 178名
 看護方式: 受け持ち制固定チームナーシング
 教育体制: クリニカルラダーシステム
 新人看護職員卒後臨床研修制度
 プリセプターシップ
 認定看護師: 1名(がん性疼痛看護)
 その他: 院内保育所等あり

4つのことを大切に日々活動しています。

3

働き続けられる職場環境

夜間保育にも対応した保育所を完備し、年休の時間単位利用や育児短時間勤務等、子育て支援と共にプライベートが充実できる環境づくりにも力を入れています。

4

キャリアアップ支援の充実

JCHOならではの多彩なキャリア支援を活用して、看護師のキャリアアップも積極的に応援しています。クリニカルラダーに沿って、自分たちが目指す看護師に近づけるよう教育体制を整備しています。

“良い看護はプライベートの充実から生まれる”

その人らしいを支える医療



訪問看護では医師と共に
“その人らしく暮らす”を支える
サポートを行なっています

働き続けられる職場環境



ママさんナースがたくさん活躍中!
育児も仕事も協力し応援しあえる
仲間たちです



みんなの笑顔が見られる看護



患者さまに少しでもリラックスして
治療にのぞんでいただけるよう
笑顔が心がけています



スタッフの働きやすさを
サポートするために、
日々のメンバー調整はもちろん、
スタッフの希望を優先した
勤務計画作りを
一番大切にしています。



JCHOならではの 多彩なキャリア支援と職場配属への配慮

キャリアアップについては現在、JCHO(独立行政法人地域医療機能推進機構)全体のフレームを活かした支援が施策の中心になります。

具体的には、専門・認定看護師の取得、その他の資格取得、長期研修会の受講などへの受講費・給与支給などを含めたさまざまな支援です。院外研修への参加も積極的に進めています。当院は看護協会にも近いので、多くの看護師が研修に参加しています。

また、JCHOには全国57の病院があり、看護学校から老健、訪問看護ステーションなど多彩な職場に出向して、当院の施設にしばられないキャリアを積むことも可能です。

このようにキャリアアップを目指す人にとって、環境はかなり整っています。



レベルV

ファシリテータ
(管理職補佐)

- 自施設の目標達成に向けて組織改革に必要な建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する。
- より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。
- 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる。

レベルIV

実習指導者

- 自施設の目標達成に向けて主体的に実践する。
- 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。
- 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究的に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる。

レベルIII

プリセプター
リーダー

- 所属部署の目標達成に向けて主体的に実践する。
- ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。
- 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。

レベルII

チームメンバー

- 組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する。
- 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する。
- 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる。

レベルI

新人

- JCHO及び自施設の理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する。
- 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。
- 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる。

管理・教育
スペシャリスト

信頼感

倫理・安全・研究

ジェネラリスト

基本的看護技術

確かな技術

認定看護師の活動

がん性疼痛看護
認定看護師
星川 美穂



患者さまやご家族が抱える苦痛を、身体的だけでなく不安や悩みなど様々な苦痛を含めたものとして捉え、その苦痛が緩和されるように患者さまやご家族の相談に応じて接しています。また、がんによる痛みや痛み以外の症状を緩和できるように、医療スタッフと協力して鎮痛薬の調整を行なっています。

先輩ナースの声

M・Hさん



日々、看護とは何かを考え実践しています。

私は現在、回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。この病棟は、私の考える看護が実践できる環境です。

りつりん病院に入職して2年目になりますが、今の病棟に配属となり、看護とはとても奥が深いと思うようになりました。それは「回復期」に集中的なりハビリテーションを行うことにより

機能回復が期待でき、社会復帰への可能性が出て来るからです。

まだまだ分からないことばかりですが、先輩方の患者さまへの関わり方や支援の仕方などたくさん学ぶことができ、とても勉強になります。

みなさん、これから学生の時に思い描いている自分の看護師像をぜひ実現させてください。

「ママは看護師！」って、
子どもが誇りに思ってくれるうれしさ



3児のママ
M・Nさん

私が看護師になったのは28歳。その前は大学の家政学部を出て、2年間栄養系の仕事をしていました。もともと看護師の仕事に興味があったのですが、大変な仕事だというイメージに躊躇していました。でも、社会に出て「やっぱり自分は白衣の天使になりたい」という思いが強くなり、24歳で看護専門学校に入りました。

りつりん病院には実習で来た際に、周りのスタッフに良くしてもらい「ここで働きたい！」と学校を卒業後入職しました。前は内科でしたが今は混合病棟で働いています。当院のあらゆる科の患者さまが入院されているため、病気の

状態や年齢もさまざまです。幅広い患者さまにトータルに対応できるよう、実践の中で学び、鍛えられているところです。

退院された患者さまが、後日わざわざ病棟まで来てくださって「ありがとう」と言われた時の嬉しさはひとしおです。でも病院というところには様々な患者さまがいらっしゃるの、出産される妊婦さんもいれば、残念ながら亡くられる患者さまもいます。人生の中で、生まれるとき、亡くなる時は一度しかありません。その大切な瞬間に立会い、患者さま・ご家族に寄り添えるのが看護師のやりがいだと思います。

りっりん病院の特徴

一般病棟

一般病棟は7:1看護師配置です。外科、内科をはじめとしてあらゆる診療科に対応しています。そのため、患者さまは周術期、急性期、亜急性期、ターミナル期と病状の回復過程別に病棟編成してあるのが特徴です。診療科の垣根を越えて幅広く看護のスキルを生かすことができます。



地域包括ケア病棟

急性期を脱した患者さまが、在宅へ復帰するために支援を行う病棟です。『できる限り住み慣れた地域の中で療養生活を送る』ため、患者さまご自身やご家族の意向をじっくりと聴き、医師やコメディカルスタッフ、地域の医療機関や訪問看護ステーションとの連携を図り、退院準備の調整役となっています。



回復期リハビリテーション病棟

主に整形外科、脳神経外科のリハビリが必要な患者さまを対象とした病棟です。明るく、楽しく、時には厳しくをモットーに日夜患者さまと共に、退院に向けてリハビリに励んでいます。患者さまとしっかり寄り添うことができ、看護の醍醐味を味わっています。



外来・健康管理センター

外来は16診療科と中央処置室、救急外来で1日400~500名の患者さまの対応をしています。また健康管理センターは香川県下150の企業へのバス検診や、院内では1日70名前後の受検者の健診を行っています。笑顔で安心のケアを心がけています。



手術室

手術室では7診療科年間約1,700症例の手術に対応しています。近年、内視鏡下における手術対応が拡大され、各種医療器械もより繊細かつ高度化されてきました。「患者さまにとって安心・安全な手術を提供する」ために全力で取り組んでいます。中央材料室では委託業者の方々と共に、手術器械の管理のほか、院内全部署の滅菌物の管理を行っています。



訪問看護ステーション

訪問看護師は、『地域のみなさまが、住み慣れたご家庭で自分らしく生きるお手伝いをさせていただきます。』を合言葉に、主治医やケアマネジャー等と連携しながら、一人ひとりのご病気や障害の程度に合わせてご本人やご家族の希望を尊重しながら在宅療養を支援します。



福利厚生

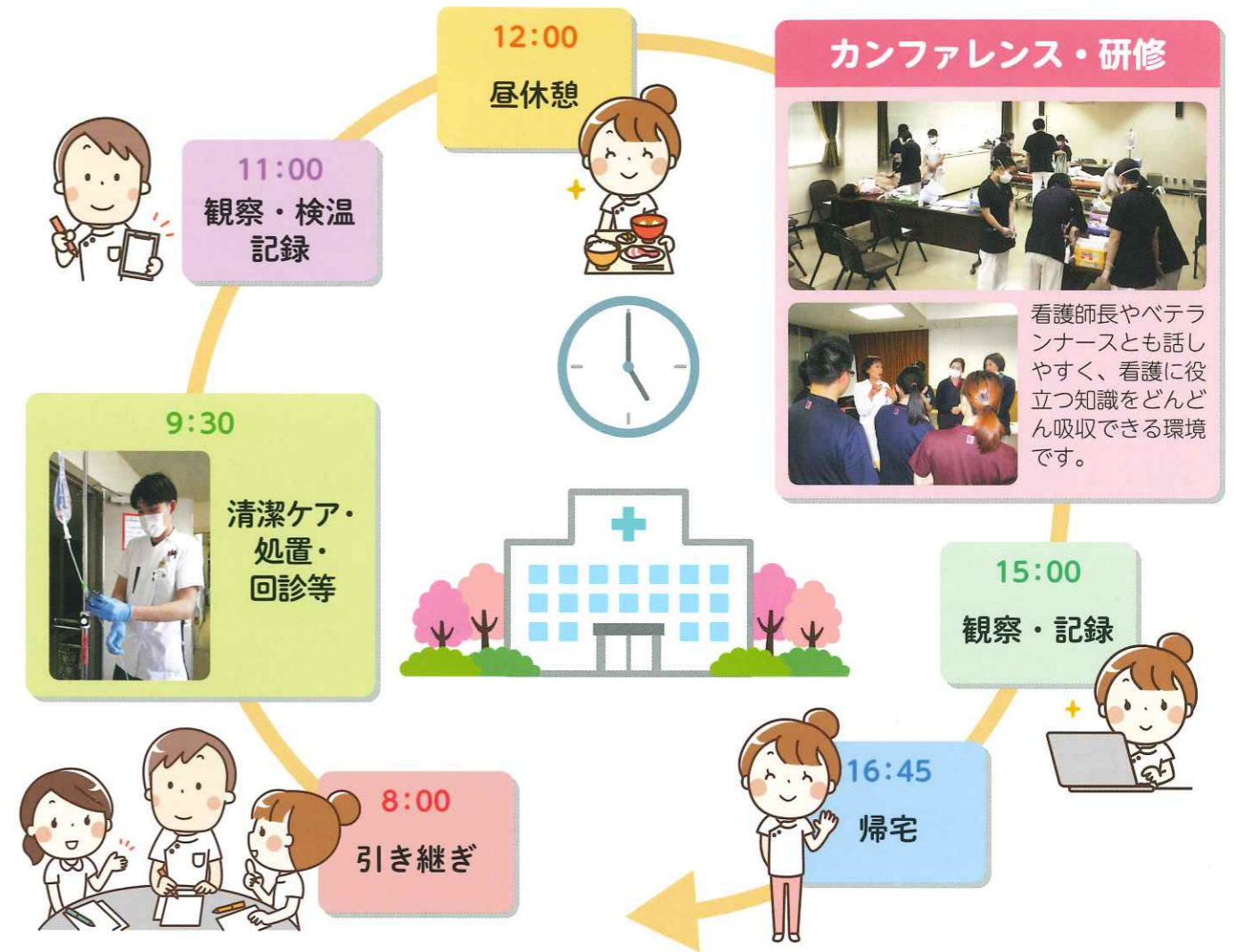
- 勤務希望にできるだけ添うように勤務計画表を作るのは、看護師長のポリシーとなっています。
- 子どもの学校行事に参加しやすくなるように、年休の時間単位利用も積極的に活用されています。
- 希望者の嘱託職員への切り替え、夜勤専従制度の導入などもあります。
- 病院の隣には、マナーズが安心して子どもを預けられるように夜間保育にも対応した保育所があり、現在5~6名が利用しています。

休憩時間は好きな食べ物、おしゃれなカフェ、ファッションの話に花が咲きます



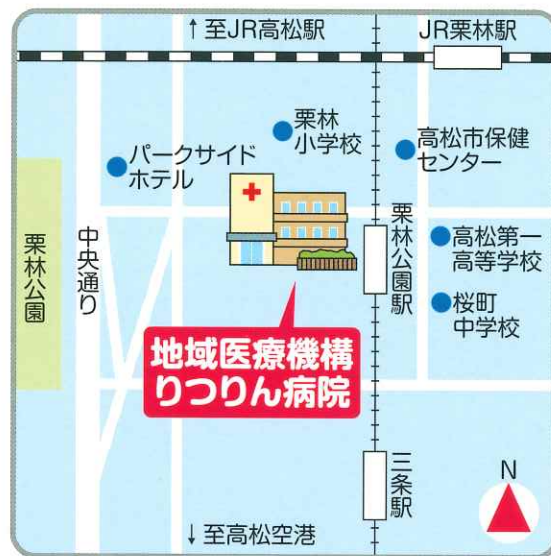
職場でプロ意識を持って専門性を発揮し続けるためには、プライベートの充実が欠かせません。そこから仕事への集中力・楽しさが生まれ、良い看護につながっていくのですから。現場を離れたらひとりの人として、それぞれの生活や家庭を大切にしたいと思います。

1日の流れ



新人研修1年間





Japan Community Health care Organization Ritsurin Hospital

独立行政法人 地域医療機能推進機構

りつりん病院

〒760-0073 香川県高松市栗林町3丁目5番9号

TEL (087)862-3171(代)

FAX (087)837-1427

ホームページ <https://ritsurin.jcho.go.jp>

メールアドレス main@ritsurin.jcho.go.jp